

令和元年度練馬区立豊玉中学校 学校評価報告書

練馬区立豊玉中学校
校長 江川 誠志

1 自己評価結果

(1) 概要

生徒、保護者、地域関係者、教職員のアンケート調査、意識調査をもとに、年度末に教職員が自己評価を行った。この結果をまとめると以下ようになった。

ア 今年度の成果

「学力向上プロジェクトの推進」や「地域と協働した取組の定着」、「学校評価サイクルの改善」、「いじめの早期発見・解決」等に成果がみられた。

イ 次年度への課題

「主体的な学びや自己表現力の向上」や「コミュニケーション能力の向上」、「確かな学力の向上」、「キャリア教育の充実」等に課題がある。

ウ 次年度に向けた改善点

チーム学習による課題解決的な学習を軸とした授業や、「学び」を探求する学習を、教師が共通認識をもって意図的・計画的に実施し全教育活動に波及させる。

(2) 根拠となる資料

令和元年度 豊玉中学校の教育調査（アンケート）結果

(生徒・保護者・教職員)

指標	【とてもそう思う	5点】	┌	(肯定的評価)	
	【どちらかと言えばそう思う	4点】			
	【どちらかと言えばそう思わない	2点】	└		(否定的評価)
	【そう思わない	1点】			
	【わからない	0点】	(不明)		

評価項目	生徒	保護者	教職員
1 少人数グループ学習等を工夫することで、主体的・対話的で深い学びを目指します。	4.2	3.3	3.7
自己評価についての評価結果および主な意見			
積極的に少人数グループ学習等を工夫した授業改善を行った教科があったため、生徒の評価は高いが、全く行わない教科もあるため、教職員の評価は低い。			
自己評価を踏まえた次年度の改善策			
「チーム学習による学びの主体者の育成」を研究テーマに設定し、「課題解決」を軸とした授業改善を推進します。			

評価項目	生徒	保護者	教職員
2 自己表現力、プレゼンテーション能力の伸長を図ります。	3.7	2.8	3.3
自己評価についての評価結果および主な意見			
発言はできるが、根拠を示すことができない生徒が多い。プレゼンテーションを行う場面は、一部の教科と総合的な学習にとどまった。			
自己評価を踏まえた次年度の改善策			
主体的・対話的で深い学びの実践を通して、「自分はどう思うのか」、自信をもって自分の意見や考えを表現できる生徒を育成します。			

評価項目	生徒	保護者	教職員
3 コミュニケーション能力の伸長を図ります。	3. 8	3. 3	3. 7
自己評価についての評価結果および主な意見			
職員間にリレーションづくりの大切さが伝わってきているが、学年によって取組の差が大きく、そのための教育活動が十分に行われたとはいえない。			
自己評価を踏まえた次年度の改善策			
リレーションづくりにより、仲間の意見を取り入れて、「自分の意見や考え」の質を高めることを楽しめる生徒を育成します。			

評価項目	生徒	保護者	教職員
4 個に応じた指導を行い、確かな学力の定着を目指します。	3. 5	3. 1	3. 9
自己評価についての評価結果および主な意見			
個に応じた指導については、これまでも行われてきているが、職員によってその理解が異なる。できないところに重点が置かれ、得意な面を伸ばす場面が少ない。			
自己評価を踏まえた次年度の改善策			
生徒が得意な面や発達の進んでいる側面をさらに伸ばすことによって、遅れている側面を補うことができるような指導内容を設定します。			

評価項目	生徒	保護者	教職員
5 人に対する思いやりや他者との違いを理解し、認め合いながら生きる生徒を育てます。	3. 8	4. 1	4. 3
自己評価についての評価結果および主な意見			
年度当初にリレーションづくりが十分に行われていないため、問題が起こってから事後対応に当たることが多い。生徒・保護者への対応は、適切に行っている。			
自己評価を踏まえた次年度の改善策			
生徒の学習上または生活上の困難を的確に捉え、生徒が現在行っていることや、指導すればできること、環境を整えればできることなどに目を向け、生徒の実態に応じて環境を整える教育を推進します。			

評価項目	生徒	保護者	教職員
6 夢や目標をもち、困難を乗り越え、幸福な人生の作り手となっていけるように支援します。	3. 6	3. 6	3. 8
自己評価についての評価結果および主な意見			
「総合的な学習の時間」がスケジュールをこなすことを優先しているため、キャリア教育としての系統性が保てていない。			
自己評価を踏まえた次年度の改善策			
「学び」の見通しをもたせ、目の前の課題に対して、主体的に仲間と協働し、解決に向けて前向きな行動ができる生徒を育成します。生徒一人一人が自らの学習状況やキャリア形成を見通したり、振り返ったりできるようにするために、生徒たちが自己評価を行うことを教科等の特質に応じて学習活動の一つとして位置付けます。			

評価項目	生徒	保護者	教職員
7 規範意識や基本的な生活習慣を確立させます。	3. 6	3. 2	3. 9
自己評価についての評価結果および主な意見			
多くの生徒が規範意識をもち、基本的な生活習慣を身に付けている中で、一部の生徒が、それができずに学校生活の中で生徒間のトラブルを起こしている。			

自己評価を踏まえた次年度の改善策			
すべての教育活動を通して、生徒に社会生活の基本的なきまりや規範意識を基に、適切に判断し行動しようとする態度を育成します。			

評価項目	生 徒	保 護 者	教 職 員
8 規範意識や基本的な生活習慣を確立させます。	4. 6	4. 1	4. 5
自己評価についての評価結果および主な意見			
「薬物乱用防止教室」や防犯、防災、交通安全等の指導を、年間を通して計画的に行っているため、生徒、保護者、教職員ともに高い評価が得られた。			
自己評価を踏まえた次年度の改善策			
次年度も引き続き「薬物乱用防止教室」や「情報モラル教室」等を実施したり、安全指導や避難訓練を実施したりして、薬物、情報、防犯、交通安全などの正しい知識を身に付けさせます。			

評価項目	生 徒	保 護 者	教 職 員
9 インターネットやSNSの正しい使い方について、正しい知識を身に付けさせます。	4. 3	3. 8	4. 1
自己評価についての評価結果および主な意見			
「SNS学校ルール」の徹底、「情報モラル教室」の実施等で、多くの生徒がインターネットやSNSの正しい使い方について正しい知識を身に付けている。			
自己評価を踏まえた次年度の改善策			
「SNS学校ルール」の徹底、「情報モラル教室」の実施等に取り組み、SNSの利用によるトラブルの未然防止や課題解決を図ります。			

評価項目	生 徒	保 護 者	教 職 員
10 いじめを早期発見するため、生徒に対する定期的ないじめ調査等を毎月実施するとともに、その他必要な措置を講じます。	4. 0	3. 5	4. 5
自己評価についての評価結果および主な意見			
アンケートを毎月行うことで、未然防止・早期対応につながっているため、生徒の評価が高い。相談件数も学期が進むにつれて減少している。			
自己評価を踏まえた次年度の改善策			
アンケートを毎月実施して、生徒の課題を明確にし、学校いじめ対策推進委員会を中心に、具体的な解決策を講じます。また、スクールカウンセラーや心のふれあい相談員等と連携して情報を共有し、指導の共通実践を徹底します。			

評価項目	生 徒	保 護 者	教 職 員
11 望ましい勤労観・職業観を育むキャリア教育の充実を図ります。	3. 4	3. 6	4. 1
自己評価についての評価結果および主な意見			
全教育活動で多彩な取組を行っているため教職員の評価は高いが、キャリア教育としての系統性が保てていないため成果が掴みにくく、生徒の評価は非常に低い。			
自己評価を踏まえた次年度の改善策			
地域人材を活用した「職場訪問」や「職場体験」等を通じて社会の一員としての自覚を促すとともに、望ましい社会性や勤労観・職業観を育成します。キャリア教育における職業、進路等の学習の時間に、地域の人材を積極的に活用し、生徒にとって身近な人々の話を聞いたり、共に活動したりする学習を設定します。			

評価項目	生 徒	保 護 者	教 職 員
------	-----	-------	-------

12	地域の人材を活用しながら多様な考え方や生き方、社会情勢の変化を理解させます。	3. 8	3. 8	4. 1
自己評価についての評価結果および主な意見				
学校担当者に新しい提案をする等、学校支援コーディネーターの意欲的な活動で、地域の人材を活用しながら開かれた学校づくりを推進している。				
自己評価を踏まえた次年度の改善策				
開かれた学校づくりを目指して、学校・家庭・地域との連携を図ります。地域の人材を活用し、生徒が多様な考え方や生き方、社会情勢の変化を理解させます。具体的には、「書道教室」や「和太鼓体験」、「浴衣の着付け教室」、「働く人の話を聞く会」等に地域の方を講師として招き、学ぶ機会をつくります。				

	評価項目	生徒	保護者	教職員
13	全校朝礼・学年朝礼・学年集会の講話を工夫し、人生観や生き方について考えを深めさせます。	3. 7	3. 2	3. 4
自己評価についての評価結果および主な意見				
全校朝礼の校長の講話や、学期に数回しか行われない学年集会の指導にとどまり、「人生観」や「生き方」について十分に考えを深めさせるまではできなかった。				
自己評価を踏まえた次年度の改善策				
月に全校朝礼1回、学年朝礼を2回行い、すべての教員が講話を工夫し「人生観」や「生き方」について考えを深めさせていきます。				

	評価項目	生徒	保護者	教職員
14	学校評価として生徒・保護者・学校評議員のアンケート等を実施し、学校運営の改善に生かします。	3. 6	3. 6	4. 3
自己評価についての評価結果および主な意見				
教育調査を7月と12月に行い、問題点と改善策を示したため、教職員の評価は高い。しかし、成果が数値に表れていないことが多く、生徒や保護者の評価は低い。				
自己評価を踏まえた次年度の改善策				
学校経営計画に基づく自主的、自律的な学校運営を基盤とし、組織的・計画的な教育活動を展開します。学校関係者評価を適正に実施し、成果や課題、改善策を家庭および地域と共有し、信頼される学校づくりを推進していきます。				

	評価項目	生徒	保護者	教職員
15	地域行事に積極的に参加し、「地域の学校の一員」としての役割を果たします。	4. 1	3. 4	3. 9
自己評価についての評価結果および主な意見				
生徒会を中心に多くの生徒が地域の活動にボランティアとして参加したため、生徒の評価は高い。教職員の意識付けと、参加者に偏りがあることが課題である。				
自己評価を踏まえた次年度の改善策				
生徒が「生きる力」の核となる豊かな人間性や社会性を育むために、地域人材を活用した体験的な教育活動を充実します。また、生徒の地域ボランティアへの参加を促し、ボランティアの精神を育むとともに自尊感情を向上させます。				

	評価項目	生徒	保護者	教職員
16	生徒児童間の交流活動の充実を図り、中一ギャップの解消に努めます。	4. 4	3. 9	4. 1
自己評価についての評価結果および主な意見				
生徒会を中心に、「体験入学」や「リトルティーチャー」等を実施し、多くの生徒が小学校2校との交流を行っている。				
自己評価を踏まえた次年度の改善策				

小学校の児童が中学校での学習や生活、部活動等を理解する場として体験入学（授業・部活動）を実施します。また、海外派遣生徒によるプレゼンテーションや、中学生による補充学習の支援、挨拶運動等を行います。

評価項目	生徒	保護者	教職員
17 心の教育（規範意識の向上）と教育相談活動の充実を図ります。	4. 1	3. 9	3. 2
自己評価についての評価結果および主な意見			
教育相談活動を充実させることはできたため、生徒や保護者の評価は高い。しかし、人権教育等の心の教育が十分ではなかったため、教員の評価は極めて低い。			
自己評価を踏まえた次年度の改善策			
人に対する思いやりや礼儀、他者との違いを受容し、認め合う力を身に付けさせます。特別支援コーディネーターが中心となり、担任とスクールカウンセラーや心のふれあい相談員等との日々の報告・連絡・相談を確実にを行い、組織全体で教育相談の充実を図ります。			

評価項目	生徒	保護者	教職員
18 人に対する思いやりや礼儀、他者との違いを受容し認め合う力を身に付けさせます。	3. 7	4. 1	3. 6
自己評価についての評価結果および主な意見			
運動会や学習発表会等で協力し合う姿を見ているため、保護者の評価が高い。年度当初にリレーションづくりが十分にできていないので、教員の評価は低い。			
自己評価を踏まえた次年度の改善策			
ピア・サポートプログラムを活用し、リレーションづくりや話し合いのルールづくりを行い、高め合う環境や関係を育みます。ピア・サポートプログラムは、コミュニケーション訓練や問題解決スキル、対立解消スキルを身に付けさせるためのプログラムです。			

評価項目	生徒	保護者	教職員
19 生徒会・委員会活動の充実を図ります。	4. 2	3. 9	4. 3
自己評価についての評価結果および主な意見			
生徒会朝礼や小学校との交流など、生徒会を中心に積極的な活動が展開されたために、生徒の評価が高い。			
自己評価を踏まえた次年度の改善策			
学区内小学校との交流活動や生徒会活動等の多様な体験活動を通して、豊かな人間性や自ら学び自ら考える力を養います。従来の生徒会の活動を生かしながらも、常に生徒の創意工夫を尊重する観点から、具体的な内容、方法、時間などの枠組みはあらかじめ定めておき、生徒の発意・発想を生かす活動を展開します。			

評価項目	生徒	保護者	教職員
20 学校行事の充実を図ります。	4. 1	3. 7	3. 7
自己評価についての評価結果および主な意見			
運動会や学習発表会等の行事に真剣に取り組み、行事の中では望ましい人間関係を形成したことや、達成感を得られたため生徒の評価が高い。			
自己評価を踏まえた次年度の改善策			
運動会や合唱コンクール等の学校行事を通して、望ましい人間関係を形成したり、集団への所属感や連帯感を深めたりして、よりよい学校生活を築こうとする自主的、実践的な態度を育てます。			

評価項目	生徒	保護者	教職員
21 保健便りを発行し、健康に関する情報を生徒や保護者に発信します。	3.9	3.9	3.8
自己評価についての評価結果および主な意見			
熱中症やインフルエンザの感染予防に努め、昨年度に続いて、熱中症はゼロ、学級閉鎖も行わずに過ごすことができた。体力向上については改善の余地がある。			
自己評価を踏まえた次年度の改善策			
生徒たちの健康の保持増進のため、健康な体づくりを意識させ、生活習慣病の予防にも努めさせます。体力テストの結果等を活用し、子供たち一人一人の体力・運動能力に応じて体力向上を図る取組を推進します。			

2 学校関係者評価の結果

(1) 総括

- ① 成果… 地域行事のボランティア活動の活性化は、開かれた学校という意味で大きく前進し、学校への信頼や、地域と中学生の絆を深めることができた。
- ② 課題… 個に応じた指導（対応を含めて）を課題と捉えている。授業で学習につまづきを感じている生徒を、大切に育ててほしいという願いに応えること。
- ③ 改善策… 小グループ学習は、学力に差がある生徒が授業中に活躍させるために始めることを理解してもらい、「学力向上プロジェクトの推進」に期待してもらえるようにすること。

3 学校評価結果の公表等

- ・学校ホームページで、7月と12月の教育調査の結果を公表
- ・保護者・地域に向けて、学校だより（2月21日特別号）で調査結果の公表。
- ・3月に保護者会での説明を予定していたが、新型コロナウイルス感染予防対策のため、保護者会を中止とした。3月中に学校ホームページで公表。

4 次年度の学校改善に向けた校長の見解

(1) 課題と改善策

本校は、「主体的な学び」や「自己表現力」、「コミュニケーション能力」、「確かな学力の定着」、「規範意識や基本的な生活習慣」、「望ましい職業観」、「人生観や生き方」、「心の教育」等に課題があります。これらすべての課題を解決し、生徒や保護者・地域の方々から認められる学校にするために、生徒に「学ぶ意味」に気付かせ、社会的スキルを身に付けさせて「学びの主体者」として成長させます。

(2) 「豊中プラン2020」の確実な実施

次の5つのプランを実行することで、学校改善を確実に図っていきます。

① 学力向上プロジェクトの拡充・展開

2年間の教育課題研究指定校として、年間講師に指導を仰ぎながら充実を図る。

② キャリア教育の改善

3年間で系統立てて、3年間で身に付けさせる力を明確にして改善を図る。

③ 学校行事の見直し

学力向上プロジェクトと連動させ、行事で身に付ける力に合致した内容にする。

④ 地域に貢献できる人材育成の取組

ボランティア・リーダーを中心に、主体的に活動する範囲を拡大していく。

⑤ 「命の授業」の継続（今年度から取り組み始めた「命の授業」を継続する）

講師の東京大空襲の実体験を聞き、平和の尊さや命の尊厳について考えさせる。